



平成 18 年 9 月 15 日

会社名 神鋼商事株式会社
代表社名 代表取締役社長 森 脇 亞 人
(コード番号 8075 東証第 1 部)

問合せ先 総務部長 角 谷 和 昭
(TEL 03-3276-2036)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 11 日の決算発表時に公表しました、平成 19 年 3 月期の中間期および通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期連結業績予想数値の修正

1) 中間期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	288,000	3,000	1,400
今 回 修 正 予 想 (B)	310,000	4,000	1,900
増 減 額 (B-A)	22,000	1,000	500
増 減 率 (%)	7.6	33.3	35.7
(ご参考) 平成 17 年 9 月中間期実績	295,603	3,230	1,296

2) 通 期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	590,000	6,300	3,000
今 回 修 正 予 想 (B)	640,000	7,500	3,300
増 減 額 (B-A)	50,000	1,200	300
増 減 率 (%)	8.5	19.0	10.0
(ご参考) 平成 18 年 3 月期実績	588,955	7,001	2,827

2. 平成 19 年 3 月期個別業績予想数値の修正

1) 中間期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	260,000	2,000	900
今 回 修 正 予 想 (B)	278,000	3,000	1,400
増 減 額 (B-A)	18,000	1,000	500
増 減 率 (%)	6.9	50.0	55.6
(ご参考) 平成 17 年 9 月中間期実績	271,522	2,455	937

2) 通 期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	533,000	4,400	2,100
今 回 修 正 予 想 (B)	573,000	5,600	2,300
増 減 額 (B-A)	40,000	1,200	200
増 減 率 (%)	7.5	27.3	9.5
(ご参考) 平成 18 年 3 月期実績	540,260	5,191	1,942

3. 修正の理由

1) 連結業績予想修正の理由

中間期の連結業績につきましては、自動車、造船など製造業向けの需要が好調を維持したことに加え、非鉄原料価格の高騰等により、鉄鋼および非鉄金属セグメントを中心に順調に推移した結果、売上高は 3,100 億円、経常利益は 40 億円、当期純利益は 19 億円と、それぞれ前回予想を上回る見込みとなりました。

また、下半期においては、原油価格の上昇や米国経済の減速懸念など不透明な要因があるものの、今後も景気回復が継続するものと見込まれることから、通期の業績予想につきましては、売上高は 6,400 億円、経常利益は 75 億円、当期純利益は 33 億円に上方修正いたします。

2) 個別業績予想修正の理由

当期の個別業績は、中間期、通期ともに、上記の連結業績予想修正と同様の理由により、売上高、経常利益、当期純利益、それぞれ前回予想を上回る見込みです。

(注) 上記の業績見通しは、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となり得ることをご承知置きください。

以 上